

製品名: P4HB マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82821**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	57.1kDa

抗原情報

遺伝子名	P4HB
別名	DSI,GIT, PDI,PHDB, PDIA1,PO4DB, PO4HB,PROHB,CLCRP1, ERBA2L,P4Hbeta
遺伝子 ID	5034.0
SwissProt ID	P07237
免疫原	哺乳類で発現したヒト P4HB (AA:309-508) の精製された組み換え断片。

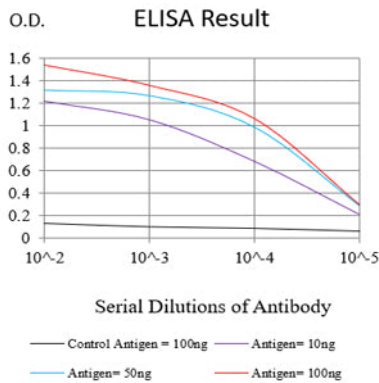
背景

この遺伝子は、タンパク質ジスルフィドイソメラーゼファミリーに属する、非常に豊富な多機能酵素であるプロリル 4-ヒドロキシラーゼのβサブユニットをコードしています。2つのαサブユニットと2つのβサブユニットからなるテトラマーとして存在する場

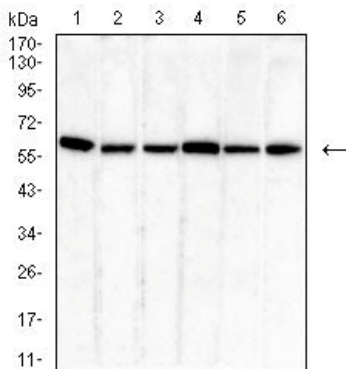
合、この酵素はプレプロコラーゲン中のプロリル残基の水酸化に関与します。この酵素はまた、ジスルフィド結合の形成、切断、および再配置を触媒する2つのチオレドキシンドメインを含むジスルフィドイソメラーゼでもあります。その他の既知の機能としては、濃度依存的にミスフォールドタンパク質の凝集を阻害するシャペロンとして機能すること、甲状腺ホルモンに結合すること、S-ニトロチオール結合型一酸化窒素の流入と流出の両方に関与すること、およびマイクロソームトリグリセリド輸送タンパク質複合体のサブユニットとして機能することなどが挙げられます。

研究分野

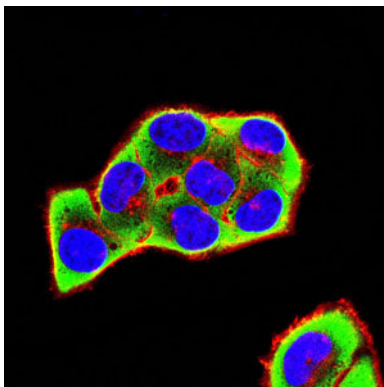
画像データ



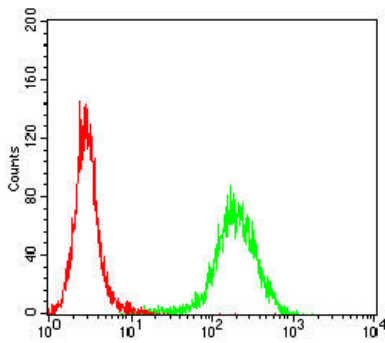
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



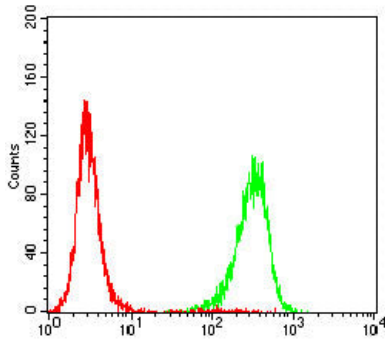
Hela (1) 、 PANC-1 (2) 、 MCF-7 (3) 、 THP-1 (4) 、 SW620 (5) 、 および HepG2 (6) 細胞溶解物に対する P4HB マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



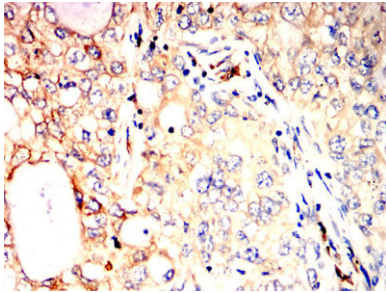
P4HB マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



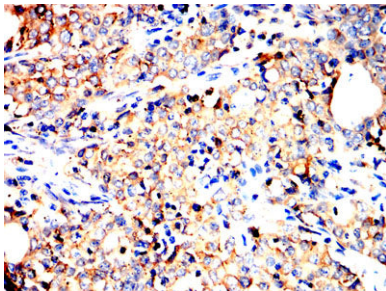
P4HB マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



P4HB マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による P4HB マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



P4HB マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。